

平成28年度インターンシップ実習報告書

実習先：群馬県庁

学籍番号：14303014

学科学年：環境創生理工学科3年

氏名：伊東大輝

■インターンシップへの参加目的

これから就職活動をする上で、実際に仕事を体験することで自分について知ること、社会人として働く上で必要な能力を調査し、今後の学生生活および進路選択に活かすことを目的としてインターンシップに参加させていただきました。

■受入企業選定理由

群馬県庁を選んだ理由としては、公務員の中でも市役所とどういった違いがあるのかわからなかったため、また、現在、群馬県庁に就職したいと考えているため、実際に仕事を見て自分に合っているのかを確認するためです。

■得られた成果

県庁がどういった立場でどういった仕事をしているのかわかることが出来ました。

自分の課題に対する問題解決能力や集中力の高さ、普段から問題意識を持っていることがわかると同時に、視野の狭さ、コミュニケーション能力、発信力がまだまだ足りないと感じることができました。そして、大学で勉強したことが就職後に生きてくることもあることがわかったのでこれまでの復習やこれからの勉強で幅広い知識をつけることが大事だと思いました。

社会人として生きていく上では、問題意識、コミュニケーション能力、責任感、広い視野、礼儀が大切だとわかりました。

■実習を通じて感じたこと

実際に県庁の仕事を体験させていただいて、これまで抱いていたデスクワークばかりでお堅いイメージであったのが、積極的に県民の方と話をし、県民のために仕事をしているのを見て、活発で熱心に仕事をしているイメージが変わりました。また、自分に対しても、コミュニケーション能力がなく、積極的に仕事をする事が出来ないのかなと思っていたが、いざ仕事をさせて頂いて、責任ある立場になると、わからないことをそのままにしておけないので積極的に人に質問することが出来、そこからコミュニケーションを取ることが出来て、自分の可能性を知ることが出来て、新たに自己分析をするいい機会になりました。

■後輩へのアドバイス

普段知っているつもり企業の企業などでも、実際に中から見たら全然違う印象を持つことがあり、それが良い変化であったり、悪い変化の場合もあるので、自分が行きたいと考えている企業がインターンシップを行っていたら積極的に参加するべきだと考える。また、社会人の方に囲まれて仕事をさせて頂く中で社会人とはどういったものなのかを知ることが出来るので、未来へのビジョンが見え、就職活動へのモチベーションの向上にもつながると思う。

■最後に

インターンシップを通して、自分に対して知り、考えるきっかけが出来た、また、就職というものがどういうものなのかをきちんと理解し、これからどういうことをしたらいいのか知ることが出来たので、就職活動へのモチベーションの向上に繋がりました。また、就職活動を身近に感じ、焦る気持ちも出てきました。しかし、他の人より

も早く就職活動への気持ちの切り替えが出来たと思うのでインターンシップに参加してよかったと思いました。

具体的な実習内容を記入してください

<1 週目>環境森林部環境エネルギー課

・1 日目

人事課共通プログラム(オリエンテーション、採用試験の概要、先輩職員の話、インターンシップ体験談、座談会)

・2 日目

現場視察(小水力発電予定地視察、太陽光発電視察(群馬県立館林高等特別支援学校)、地中熱技術視察(企業))

・3 日目

新規施策検討「住宅用太陽光発電メンテナンス啓発事業」(課題の検討、リーフレットのデザイン)
ぐんま小水力発電推進協議会 総会 見学

・4 日目

現地調査および風況調査
ぐんまフラワーパーク(風力、太陽光、水力)
奥利根水質浄化センター(風力)
データ入力(解析)

・5 日目

太陽光補助金施策検証(データからの検証、係長へ報告)
座談会

<2 週目>企業局発電課

・1 日目

発電課各係の業務説明
人事課共通プログラム(講義、グループディスカッション)

・2 日目(台風により工場見学が中止)

座学(公営企業について、企業局各課の業務説明、ダム建設のビデオ鑑賞)

・3 日目

平成 29 年度予算ヒアリング(管理総合事務所)
座談会

電気事業の説明(太陽光、小型風力、温泉)

・4 日目

現地調査(田口発電所、吉岡エネルギーパーク(風力、天狗岩発電所)、高浜発電所、高浜クリーンセンター、管理総合事務所)

・5 日目

決算書の確認、整理
人事課共通プログラム(座談会、報告会)